

# やまがた産業まつり開催

山形県工業団地協同組合(菊地規泰理事長・組合員7名)は11月4日(日)団地内の山形市産業歴史資料館において、「やまがた産業まつり」を開催した。

会場には、鋳物製品や打刃物、漆器や建具等の展示・販売のほか、彫金工房「ここり」によるキーホルダー・ペンダント作り体験教室など多彩な催しが開かれ、カップルなどが自作の作品の出来栄に喜んでた。

また、鋳物の独楽を使った「こままわし大会」では、親子連れの参加者が、ベテランの組合員から手解きを受けて上手に独楽を回す姿が見かけられた。参加者は「どの独楽を回しても同じようにしっかり回る。鋳物製品の完成度の高さが窺える。」と話していた。使用した独楽は参加者に配られ、子ども達は貰った独楽を嬉しそうに持ち帰っていた。

さらに、資料館の外には地元農産物の直売コーナーも設けられ、来訪者が次々に、とりたての野菜や果物、米などを購入していた。

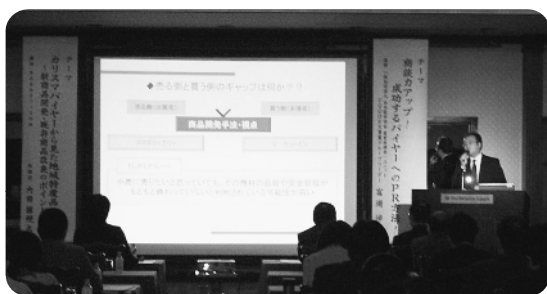
生憎の曇り空にもかかわらず多くの人々が訪れ大盛況であった。



「こままわし大会」



# プレゼン力向上セミナー開催



富浦 渉氏の講演



内田勝則氏の講演

10月24日(水)山形市ホテルメトロポリタンにおいて「プレゼン力向上セミナー」を開催した。

同セミナーは本会が主催し、やまがた食産業クラスター協議会と山形県中小企業青年中央会が共催。当日は、県や大学の関係者のほか、中小企業の担当者等約100名が出席した。

はじめに、一般社団法人日本能率協会産業振興第1ユニットFOODEX事業グループリーダーの富浦渉氏が「商談力アップ!成功するバイヤーへのPR方法!」と題し、展示会・商談会における販路開拓の有効性とターゲットの絞り方について分かりやすく紹介した。

続いて、「カリスマバイヤーから見た地域特産品の魅力～新商品開発・既存商品改良のポイント～」と題し、㈱オフィス内田取締役の内田勝則氏が講演。東武百貨店勤務時に物産展を成功に導いた経験談を基に自身の見解や売上アップの秘訣を披露した。

目標設定や販売力の強化など販促に直結する具体的な話だけに、出席者は引きこまれるように両講師の語りに耳をかたむけていた。